

## 長崎県立松浦高等学校開科式挨拶

長崎県立松浦高等学校の開科式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

令和四年四月一日、松浦高校では全国初となる、新たにシン化した普通科『地域科学科』としての歩みがスタートしました。そして、本日ここに、めでたく開科式を迎えられましたことに、心からお喜びを申し上げます。

さて、本日を迎えるまで、松浦高校の保護者の皆様、そして多くの関係皆様方のご努力に対しまして、心からの感謝と敬意を表する次第です。

近年、松浦高校は陸上部やなぎなた部が、全国レベルで活躍されており、私も松浦高校の活躍を通じて、この「松浦」という名前が全国に広がっていることを大変誇らしく感じております。

本市と松浦高校は、平成 29 年度から地域との協働事業である「まつナビプロジェクト」を通じて、地域に貢献する意欲と課題解決能力の育成に努めております。

この「まつナビ」において、松高生が提案した課題解決策であるアジフライの提供や松浦タータンを用いた商品開発など、いくつも実現化したものがございます。これらの素晴らしい取り組みの成果が国に評価されて、日本最先端の普通科である地域科学科が誕生しました。文部科学省もこの取り組みに注目しています。

松浦高校では、これまでの普通科における学びを継承・発展させ、生徒一人ひとりのキャリアプランニングに基づいて、高校生の「地域を愛し大切にす姿勢と課題解決能力」の育成を図り、「科学的・実践的な学び」に重点的に取り組むこととされています。

今後も、松高生の皆さんが、先を見通すことの難しい社会の中でもたくましく生き抜く力と、将来の目標を持ちその実現に向けて努力を続けるキャリア形成力、また、地域を大切に思い、その発展に貢献したいと思う心を育てていただきたいと思います。

地域科学科の新入生の皆さんは第一期生となります。商業科の皆さんとともに新しい松浦高校の歴史や伝統を創り、これから続く後輩の手本となる姿を見せていただけるものと信じています。

結びに、これからの松高生皆さんの学校生活が充実したものになるとともに、ご臨席皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和四年四月八日

松浦市長 友田 吉 泰